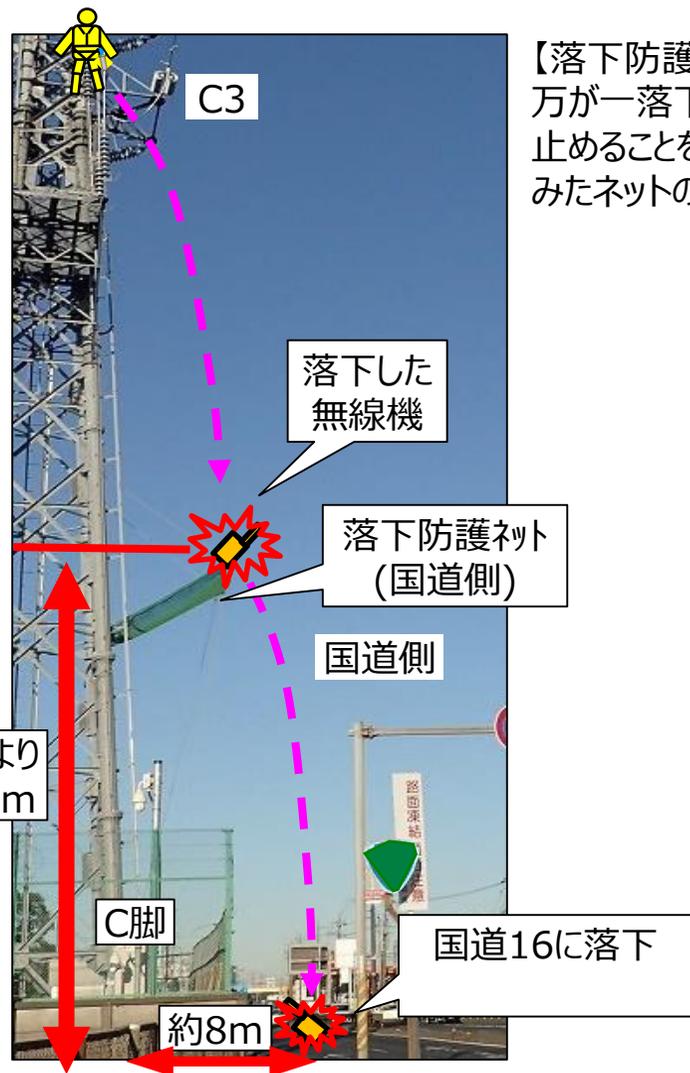
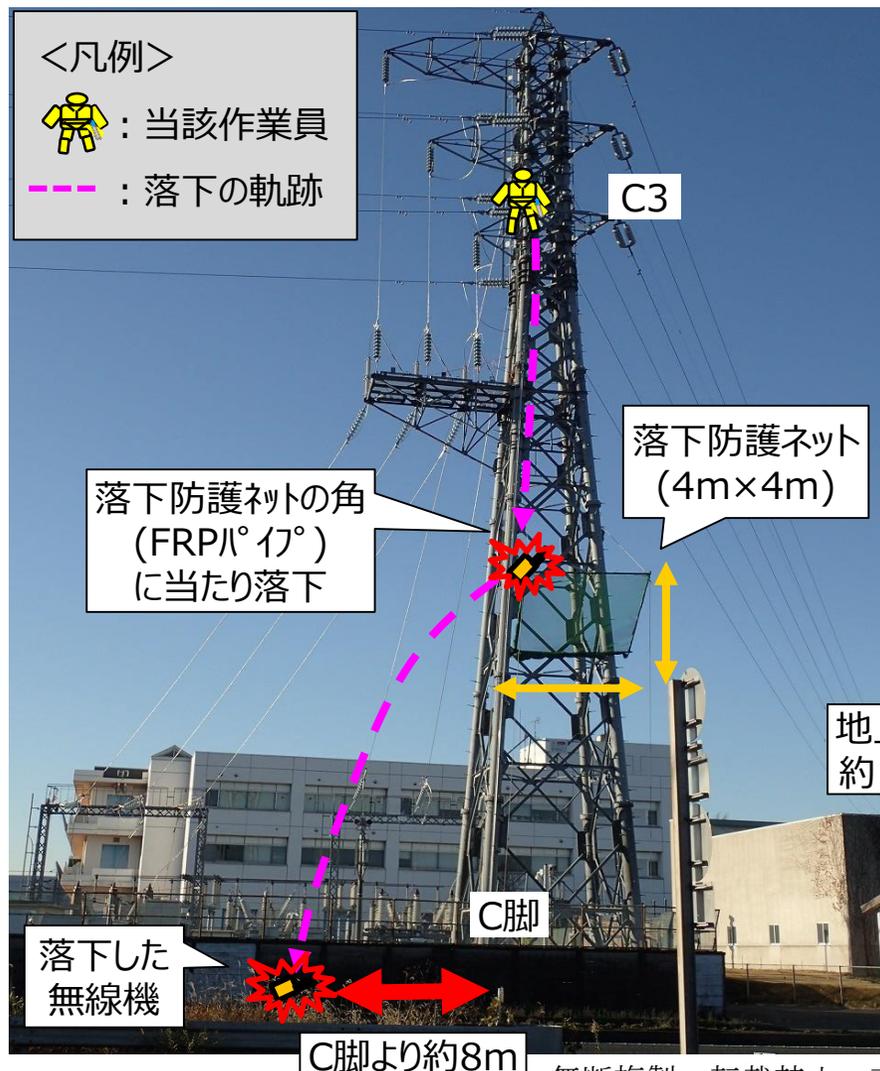


1. トラブル発生状況①

- ✓ C3で移動ロープを掛け替えようと体勢を右側に傾けた際、携帯していた無線機が落下した。
- ✓ 落下途中に落下防護ネットの角（FRPパイプ）に当たり、国道に無線機が落下した。



【落下防護ネット設置の考え方】
万が一落下した際に、ネット内で受け止めることを目的に、現場状況を鑑みたネットの張り出しを実施。

無線機（同型）
重量：約150g



1. トラブル発生状況②(無線機落下までの流れ)



【STEP1】 鉄塔昇塔～C2 作業完了

- ・無線機の紐を右肩に通し、首の後ろ回しで左肩前にぶら下げて昇塔した。

※無線機を聞きやすくするため、上記のとおり装着

⇒ ハーネス装着後に無線機を忘れたことに気がつき、そのまま肩に掛けて昇塔し作業を行った。



【STEP2】 C3 移動時

- ・C2腕金で作業が終わったため、C脚支柱材からC3腕金に移動。

※作業員が気づかないうちに、無線機が背中側に回って右肩にかかっているだけの状態となっていた。



【STEP3】 C3到着～移動ロープ掛け替え時 ※落下発生

- ・C3腕金に到着後、支柱材にWP用ロープを掛け、移動ロープを掛け替えようと体勢を右側へ傾けた際、右腕から抜け落ち無線機が落下した。

